

# 由利

立教185年 令和4年

天理教由利分教会

郵便番号 015-0862

由利本荘市小人町159

電話 0184-22-0707

FAX 0184-22-1235

ichidaime-yuriyoshil@outlook.com

3 月 号



## 教区長として最後の全体会議

二月  
一ヶ月間の主な歩み

三月	二月
一 日	一九 日
二 日	二二 日
三 日	二三 日
四 日	二四 日
五 日	二五 日
六 日	二六 日
七 日	二七 日
八 日	二八 日
九 日	二九 日
十 日	北蒲原分教会月次祭
十一 日	大教会月次祭
十二 日	婦人会勉強会
十三 日	御本部月次祭、由利婦人会
十四 日	教区主事会議(リモート)
十五 日	
十六 日	
十七 日	
十八 日	
十九 日	
二十 日	
二十一 日	
二十二 日	
二十三 日	
二十四 日	
二十五 日	
二十六 日	
二十七 日	
二十八 日	
二十九 日	
三十 日	

一日 コロナお願いづとめ  
 二日 教区全体会議、教区婦人会例会  
 三日 教区春季靈祭  
 四日 支部婦人会（9時半）  
 五日 支部例会（上之浜分教会）  
 六日 お願いづとめ（十二下り）  
 七日 第一回 前会長及び  
 八日 中高年層よふぼくの集い  
 九日 会長・理事会議（15時半）

## 今月の言葉

由利分教長

佐々木 正明

先月に引き続き、道友社発行の「眞実の道 道を啓いた先人・先輩の教話集」より抜粋します。

## おたすけの心

九月十二日、A氏がやつて來た。悄然としてやつて來た。このA氏の言うこと、A氏から私の聞くこと、これはいつも同じだ。おたすけ人にはあるまじき悲しい報告だ。

「会長様、もう今日で百日にもなりますのに、まだなんのご守護もありません。一体どうしたのでしよう？」哀れつぽい話の限りだ。いつもの私なら、何とか彼(か)とか、寝言のような教理を取り次いでいたであろう。それが、その瞬間、ふと私の胸にひらめくものがあつた。私はそのひらめきを素早くとらえて諄々と諄した。諄している間に、A氏よりも

私がたまらなくうれしくなつてきた。A氏の顔も晴れやかだ。確かに聞き取れたに違いない。

A氏はその勇んだ心でおたすけに行つた。そして、確かにことは言い切れぬが、百十幾度目かのおさづけが初めて効きだしたのである。中風(ちゅうぶう)はすぐにご守護頂けた。

その日、私がA氏に諄した話、自分自身が諄された話。それは何か? ほかでもない、「かりもの」ただこれだけである。

おたすけに運ばしていただき、自分自身が歩かしていただき、おまえにこの喜びがあるか? というのが話のかかりであつた。身上はかりものである、決して私自身のものではない。動かそうと動かまいと、私の関わり知つたことではない。神様のご一存でどうのでもあることである。その自分ではどうにもならぬ身体が動く、これほどの喜びはないのだ。

朝は一家何人かの誕生日だ。それだけの喜びがみなぎつているのだ。しかし、自分が覚めて、自分の目が見えなかつたら? 誰がこんなことは絶対にあり得ないと断言できる。考えただけでも、朝起きて目が見えることは、どんな喜びかしれぬ。それは目の見えなかつた者が目の見えたときの喜びと同じだ。四六時中、この心が動いてこそ本当に目に対するかりものの理が分かつことになる。

今日再び貸し与えられたこの身上を精いっぱい使わしていただこう。「チイチク、チイチク、チユツ」雀だ。あつ、耳も聞こえるのだ、うれしい。耳の聞こえなかつた者が初めて聞こえるようになつたときのよううにうれしい。立つて縁に立つ。そして、精いっぱいの呼吸をする。今日もまた、吸う息、吐く息の結構なご守護が身に染みてありがたい。

しかも、自分一人だけではない。家族の者が皆達者だ。昨日となんの変りもなく、機嫌よく顔を見せてくれる。

## 秋田教区主催 前会長及び中高年層用木の集い開催

去る三月六日(日)午後一時半より秋田市内の交流施設“遊学舎”で、秋田教区主催、“前会長及び中高年層用木の集い”が開催されました。お助けの体験豊富な前会長さんに、その信仰をもつと發揮する場を設けさせて頂きたいという事と、短時間ではありますがそのような前会長さん方の講話を聞かせて頂き、それを元にして練り合いをさせて頂き、お互いの信仰を高めていきたいという趣旨から同集いが開催されました。

始めに教区長である当教会の会長さんが挨拶され、第一講では、都合で急きよ参加出来なくなつた平根分教会前会長さんに変わり、秋森分教会長である上田弘一教区主事が、又第二講では、稻毛通明(みちあき)大曲分教会前会長さんがそれぞれ講話をされました。両講話とも内容の濃

い感銘を受けるようなお話で、参加者の方々も喜ばれたようでした。

その後練り合いとなり、講話の話を元として、様々なお道のお話を熱く語り合わせて頂きました。

この度は、

一回目のテス

トケースとい



## ウクライナ難民の受け入れへ おたすけの心で

皆さんご承知の通り現在ウクライナの難民が大きな問題となつており、青年会本部でも難民受け入れに向けて動いております。そこで当教会としても、受け入れの意思表示をさせて頂きました。

まだまだ詳細が分からず、県、市の対応も定かではありませんが、当教会としてもできる限りの支援をさせて頂きたいと思います。受け入れについての話が進むことがありましたら、また皆様にお知らせさせて頂きます。

二月二十三日、若年婦人会の勉強会を開催しました。

講師、亀田町分教会の奥様の元、お道を通る上で心の持ち方、目標

などについて話し合いました。

リモートでの参加を含め五名の方々に参加して頂き、大変盛り上がり、勉強になりました。

## 4月祭典役割表

神殿講話 由利道分教會長

て お ど り															会長	祭主										
胡弓	三味線	小線	すりがね	太鼓	拍子木	チャンポン	笛	地方(副)	地方(主)	上	雄	会	会	矢島町	木内教子	木内教子	雄物川	物川	島夫人	島夫人	上之浜	之浜	坐りごとめ	上之浜	雄物川	扈者
小川道子	小松敬子	小林理英子	佐々木由正	東滝(前)	東利道	由利東布	仁賀保	東滝布	東滝町	上之浜	雄物川	会長夫人	会長夫人	矢島町	木内教子	木内教子	雄物川	物川	島夫人	島夫人	上之浜	之浜	前半	上之浜	雄物川	扈者
佐々木朱美	豊島末子	中村柳子	斎藤清一	伊藤一男	豊島栄二	佐々木由正	斎藤賢爾	利翔布	佐々木義實	東滝沢	由利東布	上之浜	雄物川	佐々木めぐみ	伊藤奈津子	伊藤奈津子	雄物川	物川	佐々木めぐみ	佐々木めぐみ	上之浜	之浜	後半	上之浜	雄物川	扈者
小川貴美子	豊島舞	齋藤美和子	小川心	小野繁樹	中原喜廣	桑原正信	木内正信	佐々木由明	豊島栄二	由利東布	豊島栄二	由利東布	佐々木由正	佐々木由正	佐々木由正	佐々木由正	佐々木由正	佐々木由正	佐々木良美	佐々木良美	中村絢子	中村絢子	後半	中村絢子	中村絢子	指図方

開扉・献饌の男子の方は十時まで、女子の方は、十時二十分までおつと  
め着を着用し、神殿に集合下さい。

卷之三

一  
四

よつまく信者の活性化  
おたすけの実践を目指して  
おやづけカード集計

## 由利分教會百一十周年活動

◎四月の月次祭は、四月九日(土)ですのにお間違いないようになります。

◎三月十一日(月)朝ごとめ終了後より由利分  
教会春季靈祭をさせて頂きます。「参拝よりし  
くお願ひします。

## 婦人会より 婦人会費納入のお願い

四月は婦人会費納入の月です。一年間、  
一、〇〇〇です。よろしくお願ひします。